

## アトピー性皮膚炎治療

来院ありがとうございます。当院のアトピー性皮膚炎の治療についてご説明させていただきます。

アトピー性皮膚炎は遺伝的なアトピー素因を有する方に生じる慢性、再発性の皮膚炎です。平素は皮膚に負担を掛けないように乾燥やカユミを抑えることを主に治療します。そのために、外用薬や漢方薬を用います。しかし、あまりに皮膚炎が強いときは症状に合ったステロイド薬を用いることもあります。

### A：保湿のために

1日に2～3回塗布して下さい。

- ・親水軟膏 冬場のカサツキを抑える低刺激薬
- ・親水軟膏（50%）+ザーネ軟膏（50%）  
ビタミンAを含む冬場体用保湿剤
- ・ヒルドイドソフト（血行促進作用のある保湿剤） 顔用のさらりとしたローション
- ・プロペト 夏場用、乾燥の強いところに
- ・プロペト+ザーネ軟膏  
ビタミンAを含む夏場体用保湿剤

### B：カユミを抑えるために

- ・マイザー、ポアラ軟膏（またはクリーム）  
湿疹が強いところに。
- ・親水軟膏（75%）+ロコイド軟膏（25%）  
弱いステロイドを少し含む冬場の顔用軟膏
- ・親水軟膏（50%）+ポアラ軟膏（50%）  
中程度のステロイドを含む冬場の体用軟膏
- ・プロペト（75%）+ロコイドクリーム（25%）  
弱いステロイドを少し含む夏場の顔用クリーム
- ・プロペト（50%）+ポアラクリーム（50%）  
中程度のステロイドを含む夏場の体用クリーム
- ・トブシムローション  
頭髪の湿疹に、少し強いステロイドローション

軟膏やクリーム、ローションは1日に2～3回塗布して下さい。皮膚炎が強い場合は、ステロイドの軟膏やクリームを使うことがあります。

### C：プロトピック

顔、首に効果的です。1日に1回塗布して下さい。少しピリピリする事があります。普通は1、2週間で見えますが、長く続く場合はご連絡ください。

### D：漢方治療について

- ・黄連解毒湯カプセル（1回2カプセル、朝晩内服）  
顔の赤みの強い方に
- ・当帰飲子 皮膚の乾燥が強い方に

### E：血液検査について

アレルギーやアトピー性皮膚炎の増悪因子（ダニや食べ物）などを調べます。

### F：日常生活について

- ・入浴や洗顔の時には保湿性を保つために低刺激石鹸を用いてください。
- ・化粧品は低刺激性化粧品を用い、帰宅後は自然毛のフェイシャルブラシでしっかり化粧品を洗い落としてください。化粧品が残っていると皮膚炎の原因になります。
- ・ストレスや体調不良はアトピー増悪の因子です。十分に睡眠を摂るように心がけてください。
- ・食事については、現在いろいろな意見があります。定説はありませんが、あまり強い刺激物はよくありません。
- ・カーペットや絨毯はよくありません。丁寧に掃除していても、ダニの糞や死骸が意外に多いものです。これらがアトピーを増悪させます。
- ・日光が増悪させることがありますので日焼けに注意してください。

外用薬や内服薬が合わない方は、薬を中止して当院にお尋ね下さい。

芦屋JSCクリニック

院長 水谷次郎

TEL 0797-31-3131